—— 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ——

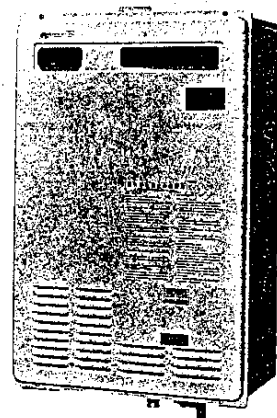
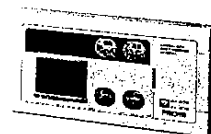
大阪支社〒550 大阪市西区千代崎3-2-95 ☎大阪06(586)3200
南部支社〒590 堺市住吉橋町2-2-19 ☎堺 0722(38)1131
北部支社〒569 高槻市藤の里町39-6 ☎高槻0726(71)0361
東部支社〒578 東大阪市稲葉2-3-17 ☎河内0729(62)1131
兵庫支社〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 ☎神戸078(360)3100
京都支社〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 ☎京都075(231)8151
奈良支社〒631 奈良市学園北2・4-1 ☎奈良0742(44)1111
和歌山支社〒640 和歌山市本町1-5 ☎和歌山0734(31)2481
兵庫西支社〒670 姫路市神屋町4-8 ☎姫路0792(85)2221
豊岡支社〒668 豊岡市三坂町6-57 ☎豊岡0796(23)2221
湖南支社〒525 草津市追分町字荒堀680-1 ☎草津0775(62)5311
彦根支社〒522 彦根市大東町12-11 ☎彦根0749(22)3131
(長浜営業所〒526 長浜市南呉服町3-4 ☎長浜0749(62)7171)
本社・ガスビル サービスセンター〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 ☎大阪06(202)2221

大阪ガス株式会社

Y0291-0

ガス給湯暖房機

44-875/876/877/878/879型

型式 AT-241RFA-AL
AT-241RFA-AL-C
AT-241RFA-AL-D
AT-241RFA-AL-E
AT-241FFA-AL

取扱説明書(保証書付)

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

このたびは、大阪ガス給湯暖房システム エックスプリオール・オート を、お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

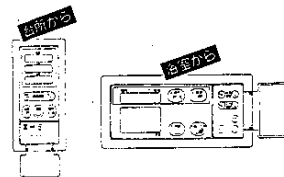
もくじ

特長・機能の紹介

●給湯の立ち上がりがすばやく安定出湯

マイコンによる電子コントロール・水量比例制御機構で、すぐに希望の湯温になりしかも安定した湯温が得られます。

●温度調節はワンタッチ

湯かげん調節はお台所からワンタッチ！台所や洗面所などで希望の設定温度が得られる電子コントロール式です。（※設定温度は約38℃～約47℃,約60℃,約75℃）さらに優先スイッチを押すと浴室で、お好みの給湯・シャワー温度（約38℃～約47℃,約60℃,約75℃）が得られます。

●ふたをしたままお湯はり・保温・足し湯の全自動！

●給湯・暖房・風呂が同時で使える2缶3水路方式

●暖房水の自動補給機能付

暖房水が蒸発などにより少なくなりますと、自動的に補給され手間いらず。

●快適暖房

室温安定時は、自動変温システム（AVT制御）の働きにより、お部屋の温度に応じた暖房水温度で運転します。
暖房は温水利用で、お部屋の空気を汚しません。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

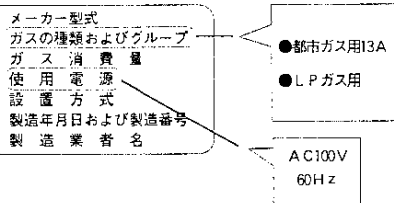
●使用ガス・使用電源についてのご注意

●ガスの種類を確かめてください。
正面右下部に貼ってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

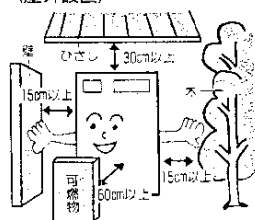
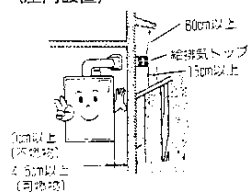
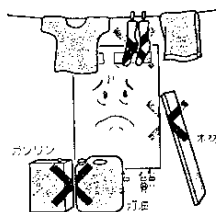
メーカー型式
ガスの種類およびグループ —— ●都市ガス用13A ●ＬＰガス用
ガス消費量
使用電源 —— ＡＣ100Ｖ 60Ｈz
設置方式
製造年月日および製造番号
製造業者名

●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

●電源の電圧と周波数を確かめてください。
銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●転宅されたときにも、ガスと電源を必ず確かめてください。

●火災予防のために

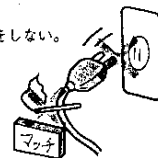
■壁や可燃物から十分離れている場所で！

〈屋外設置〉

〈屋内設置〉

■熱源機の近くに燃えやすいものを置かない！

●ガス事故防止のために

■燃焼状態の確認

点火、消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを、メインリモコンまたは風呂リモコンの燃焼表示で確認してください。

■万一ガスが漏れたときは

すべての処置がおわるまでの間、
●火をつけない。
●電気器具のスイッチの"入・切"をしない。
●電源プラグの抜き差しをしない。

■ガス漏れに気づいたとき

すぐに使用をやめ、給水元栓とガス元栓を閉じ、お買い上げの販売店、またはお近くの大阪ガス支社に連絡してください。

●使用上の注意

■給湯は

台所・シャワー・洗面等給湯以外には使用しないでください。

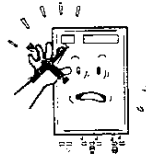
■市販の補助用具は

この熱源機の付属品・補助用具以外は使用しないでください。

■火傷にご注意

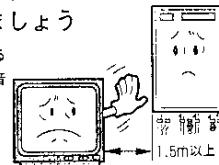
使用中や消火直後は、排気口が高温のため絶対に手を触れないでください。

■健浴剤・洗剤について

硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となりますので、健浴剤等の注意文を十分ご参照ください。

■はげしい雷のときは

使用を中止し分電盤のブレーカを切ってください。

■テレビやラジオとは離しましょう

電波の乱れによる映像の乱れや雑音の防止のため。

■飲用にお使いのとき

器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

必ずお守りください

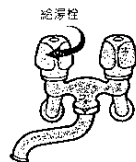
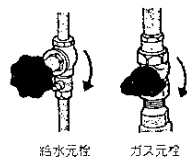
●凍結にご注意

冬期は暖かい地方でも急な寒波のため、熱源機内の水が凍り熱源機が破損することがあります。（P21参照）

●異常時の処置は

異常燃焼、臭気、異常音などを感じたときや、地震、火災のときは、あわてず次の処置をし、お買い上げの販売店またはお近くの大阪ガス支社に連絡してください。

1 給湯栓を閉める

給湯栓

2 給水元栓とガス元栓を閉める

3 お買い上げの販売店または大阪ガス支社へ

●停電がおこったら

- 停電の時は給湯栓を閉めてください。
- 再通電時は時刻表示が「0　00」になります。
  現在時刻設定・ふろ予約時刻設定・給湯温度設定・ふろ温度設定を行なってからお使いください。

各部の名前と扱いかた

● メインリモコン

●左記画面表示は説明のため全部表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分が表示されます。

●ふろリモコン

●下記画面表示は説明のため全部表示したものです。実際の運転のときは、該当部分が表示されます。

暖房燃焼表示
暖房用のバーナが燃焼しているとき表示します。

優先表示
表示しているリモコンで給湯の温度調節ができます。

給湯温度表示
給湯側の温度設定を表示します。お湯はり中はふろ温度表示と等しくなります。

給湯燃焼表示
給湯用バーナが燃焼しているときに表示します。

優先スイッチ・ランプ
風呂リモコンで給湯温度を設定するときに「入」にします。ランプ点灯時使用できます。(P11)

給湯スイッチ・ランプ
ご使用になるときに「入」にします。点火・消火は給湯栓の開閉で行なってください。給湯スイッチを押すとランプが点灯します。

給湯温度切替スイッチ
優先スイッチ「入」で給湯、シャワーの温度設定ができます。(P11)

時刻表示
現在時刻・予約時刻を表示します。

エラーコード表示
熱源機に異常があったとき、エラーコード表示に変わります。(P27)

予約運転表示
メインリモコンの「予約運転スイッチ」を押すと表示します。

水位設定表示
設定した水位を表示します。

ふろ温度切替スイッチ
自動運転、追いだきするとき適切な温度に合わせます。(P13・15)

水位設定スイッチ
自動運転時に水位を設定するスイッチです。(P12)

ふろ温度表示
ふろ側の温度設定を表示します。

保温表示
自動運転でお湯はりが完了し、保温運転に入ると表示します。

追いだき燃焼表示
ふろを沸かしているときに表示します。

自動スイッチ・ランプ
ふろを自動運転するときに「入」にします。自動スイッチを押すとランプが点灯します。(P12)

追いだきスイッチ・ランプ
ふろを追いだきするときに「入」にします。追いだきスイッチを押すとランプが点灯します。(P15)

呼び出しスイッチ
押すとメインリモコンのブザーがなります。
ご自由にお使いください。

メンテスイッチ
過去のエラー表示を確認するスイッチです。(P27)

● 外観・構造

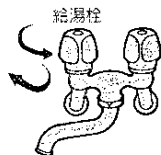
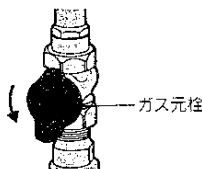
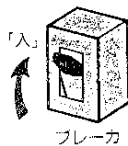
屋外設置・ＰＳ標準設置型以外に下記の種類があります。

	品　番	型　式　名
扉内設置型	44－876型	AT－241RFA－AL－C
前方排気延長型	44－877型	AT－241RFA－AL－D
後方排気延長型	44－878型	AT－241RFA－AL－E
屋内設置型	44－879型	AT－241FFA－AL

初めてお使いいただくときに

●ご使用前の準備と確認

1 給水元栓を全開にする

2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し閉める

3 ガス元栓を全開にする

4 熱源機用のブレーカを「入」にする

5 ポンプへ呼び水をする

この熱源機はポンプへ呼び水を自動的に行ないます。

初めてお使いになるときおよび、凍結予防のため水抜きを行なった後は必ず、浴そうに水・湯がない状態で自動運転（12ページ参照）を行なってください。

6 時刻設定をする

P16に従って時刻を合わせます。

使用方法 給湯のしかた

1 給湯スイッチを押す

風呂リモコン・メインリモコンのどちらかの給湯スイッチを押す。
最初に押されたリモコンに **優先** が表示されます。

- 給湯温度は、前回設定の温度を表示します。
- 前回設定の温度が「75」の場合は、安全のため「42」が点灯します。

給湯温度切替スイッチを押して

2 温度を調節する

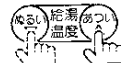
- 必ず **優先** 表示を確認してから温度の調節をします。優先表示がされてないリモコンでは温度調節はできません。

〈メインリモコンで調節する場合〉

- お好みの温度に調節します。
  メインリモコンの **優先** 表示が消えている時は風呂リモコンの優先スイッチを押します。

〈風呂リモコンで調節する場合〉

- お好みの温度に調節します。
  風呂リモコンの **優先** 表示が消えているときは風呂リモコンの優先スイッチを押します。

- 温度切替は約38℃～約47℃の間及び約60℃、約75℃で調節できます。
- 給湯温度切替スイッチを押しつづけると、連続的に変わります。「60」から「75」は押しなおします。
- 温度設定が「75」の場合、ブザーでお知らせします。

3 給湯栓を開ける

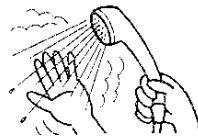
- 給湯側の「💧」が表示し、お湯が出ます。
- エラーコード表示「111」が表示している場合は、一度給湯栓を閉め、しばらく待った後、開栓します。

4 給湯栓を閉める

- バーナが消火し、給湯側の「💧」が消えます。

燃焼用送風機は、バーナ消火後約5分で停止します。

ご注意

- 自動お湯はり運転中に給湯を使用すると、温度は自動お湯はりで設定した温度になります。また水圧などにより、出湯量が少なくなる場合があります。
- 停電または、電源を「入」「切」したあとに給湯スイッチを入れると温度設定は「42」になります。
- シャワーを使用するときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確かめてからお使いください。
- 夏期など水温が高く、「給湯温度切替スイッチ」を「38」～「43」にセットしても熱い場合、湯量を多く出してお使いください。
- 給湯栓を絞りすぎた場合（約2ℓ／分以下）、バーナの火は消えるようになっています。

使用方法 自動運転のしかた

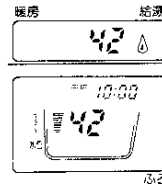
- 自動運転の機能・原理は14ページを参照してください。
- 浴そうの排水栓を閉じてください。
- 浴そうにフタをしてください。

点　火

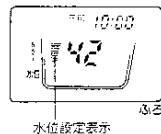
1 自動スイッチを押す

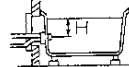
- 自動ランプが点灯し、自動運転に入ります。
- エラーコード表示「111」が表示する場合、自動スイッチを「切」にし、再度「入」にします。

ご注意

- 給湯使用中に、「自動スイッチ」を「入」にしたとき自動運転にならない場合があります。
  この場合給湯栓を閉めますと、自動運転を開始します。
- 自動運転中に、「💧」が表示したり消えたりしますが異常ではありません。

風呂リモコンで

2 お湯はり水位を設定する

- 水位設定スイッチを押し、適切な湯量になる数字にバー表示を合わせます。
  バー表示は水位設定スイッチを押すと上がっていき、5までくると下がっていきます。
- 右表の数字で一度運転し、水位が高いときは小さな数字に、水位が低いときは大きな数字に合わせて、翌日試してください。

水位設定表示

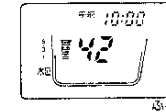
水位設定目盛	H寸法(cm)目安
5	約40
•	約33
3	約27
•	約20
1	約14

ご注意

- 洋風バスなどの浅い浴そうの場合、水位設定を高めにすると、お湯があふれることがあります。
- 浴そうの形状や施工状態によりお湯はり水位は多少変化します。

(一般的な設置例)

風呂リモコンで

3 ふろ温度を設定する

- 適切な温度に合わせます。
  約35℃～約50℃の間で調節できます。

消　火

自動で使用の場合、設定した水位・温度になると自動的に消火し、ブザーでお知らせします。（「保温」が表示され、4時間、保温・たし湯を続けます。）
途中で消火したい場合または自動運転を止める場合は次の操作をします。

4 自動スイッチを押す

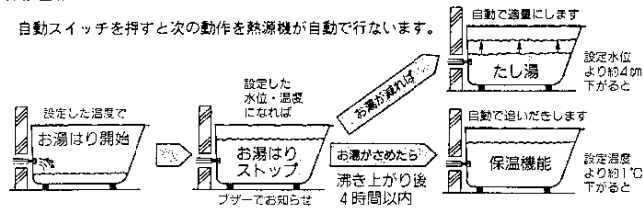
「保温」表示が消え、自動ランプも消えます。

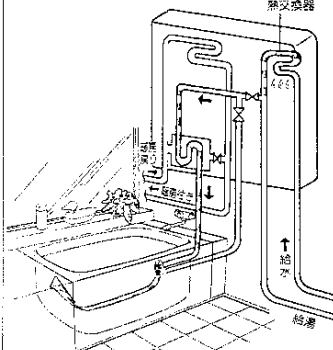
ご注意

- 自動運転中は給湯温度の表示が、ふろ温度の表示と等しくなることがありますが異常ではありません。
  またこの時、給湯を使用しますと、ふろ温度表示の湯温になります。
- 自動運転中に給湯同時使用の場合は、お湯はり時間は長くなります。
- お湯はり中(優先表示消灯中)は、給湯温度の調節はできません。
  (給湯温度を調節する場合自動スイッチを「切」にしてください。)
- 入浴時には必ず浴そうの湯をかきまぜて湯温を確かめてください。
- 停電時や電源プラグを抜かれたときは、浴そうに水、湯がない状態で自動運転から行なってください。
  (正確な水位にするため。)
- 自動運転中や給湯使用中、エアーを吸い込む音がしますが異常ではありません。
- 自動運転中や追いだき時、浴そうの風呂アダプターよりエアーが出ることがありますが異常ではありません。

知っておきたいこと

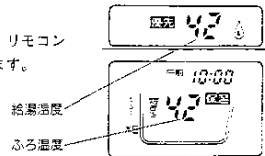
自動運転とは

自動スイッチを押すと次の動作を熱源機が自動で行ないます。

自動運転の原理

〈お湯はり(たし湯)の場合〉　〈追いだき(保温)の場合〉

給水された水が「給湯熱交換器」を通り湯となって浴そうへお湯はりします。

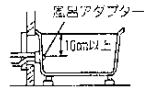
浴そうからの戻り湯が「ふろ熱交換器」を通り、再び浴そうへ高温の湯を循環させます。

- お湯はり時は、「給湯熱交換器」が働くため、リモコンの「給湯温度」は「ふろ温度」に等しくなります。

給湯温度
ふろ温度

保温・たし湯運転中は

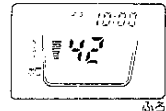
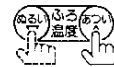
- 温度検知は30分毎にポンプで循環して行ないます。
- 自動運転は、設定した水位・温度に沸き上がってから4時間後に、自動的に停止します。(保温表示が消えます。)

入浴時など湯がぬるくなったときの追いだきに使用します。

- 浴そうの風呂アダプターより10cm以上水が入っていることを確認してから操作してください。
- 追いだきで使用の場合、設定したふろ温度より約2℃高い温度まで沸き上がると自動的に停止します。

風呂リモコンで

1 ふろ温度を設定する

約35℃～約50℃の間で調節できます。

点　火

2 追いだきスイッチを押す

追いだきランプが点灯し、ふろ側の「♨」が表示し追いだきをはじめます。

- エラーコード表示「113」が表示する場合追いだきスイッチを「切」にし、再度「入」にします。
- 浴そうの風呂アダプターより最初の数秒間エアーが出ることがありますが、異常ではありません。

消　火

途中で消火したい場合

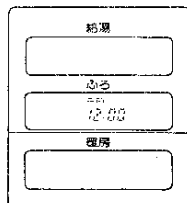
3 追いだきスイッチを押す

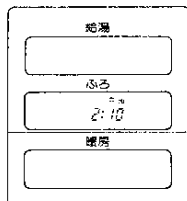
追いだきランプが消灯し、ふろ側の「♨」表示が消えます。

使用方法 現在時刻の合わせかた

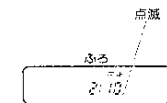
- メインリモコンの操作カバーを開けて行なってください。
- 電源が「入」の状態で「0:00」が点滅します。
- 停電後の再通電後も「0:00」が点滅します。
- 各スイッチの「入」「切」に関係なくセットできます。

1 時刻スイッチを押す

「午前 12:00 」が点滅します。

2 現在時刻を合わす

（例：現在時刻が、午後2時10分の場合）
「時」スイッチを押して「午後 2:00 」にします。次に「分」スイッチを押して「午後 2:10 」にします。

- 「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。

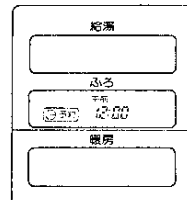
3 時刻スイッチを押す

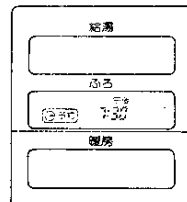
- 時刻表示が点滅から点灯に変わり、時計が動きはじめます。
- 時刻表示の右下の「・」が点滅します。

使用方法 予約時刻の合わせかた

- ふろ予約時刻とは「お湯はり」または「沸き上げ」がほぼ完了する時刻をいいます。
- メインリモコンの操作カバーを開けて行なってください。
- 各スイッチの「入」「切」に関係なくセットできます。
- 現在時刻を合わせていないと、予約時刻はセットできません。

1 予約スイッチを押す

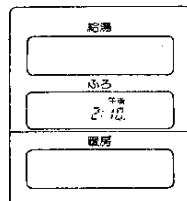
「午前 12:00 」と「予約」が点滅します。

- 予約時刻をそのまま（約15秒以上）にしておきますと予約はセットされ自動的に現在時刻に戻ります。

2 予約時刻を合わす

（例：予約時刻が、午後7時30分の場合）
「時」スイッチを押して「午後 7:00 」にします。次に「分」スイッチを押して「午後 7:30 」にします。

- 「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。

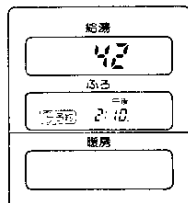
3 予約スイッチを押す

- 現在時刻に変わると同時に予約がセットされます。

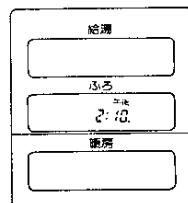
- 予約時刻が点滅したままですと、予約時刻はセットできていません。

使用方法 予約運転のしかた

予約前に次のことを確認してください。
- 浴そうの排水栓を閉じてください。
- 浴そうにふたをしてください。
- 現在時刻を合わせてありますか。
- 予約時刻を合わせてありますか。

1 予約運転スイッチを押す

- 「予約」表示します。
- 予約時刻近くになると運転を始めます。

- 予約運転スイッチを押すと、予約時刻に「お湯はり」または「沸き上げ」がほぼ完了し、予約時刻までは保温を行ないます。
- 途中で取り消す場合、次の操作をしてください。

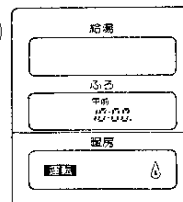
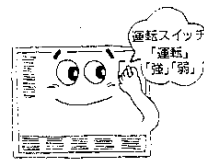
2 予約運転スイッチを押す

- 「予約」が消えます。

予約運転とは
- 予約時刻に「お湯はり」または「沸き上げ」がほぼ完了することをいいます。
- 予約時刻になると、ブザーでお知らせします。
- 予約運転設定中(熱源機が動きだすまでの間)は「自動」スイッチ、「追いだき」スイッチを押してもスイッチは入りません。
- 予約運転中でも「給湯」は使用できます。
  このような場合、「お湯はり」または「沸き上げ」時刻が遅くなる場合があります。
- 予約時刻を忘れた場合は、予約スイッチを押すと確認できます。

使用方法 暖房のしかた

運 転 (マルチコントロールシステムの場合)

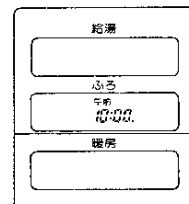
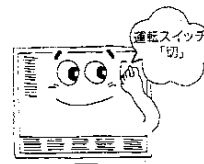
メーンリモコンの暖房スイッチは「切」のまま使用してください。

1 放熱器の運転スイッチを入れる

メインリモコンの「運転」と「💧」が表示され暖房運転をはじめます。

- メインリモコンのエラーコード表示「113」が表示している場合、すべての放熱器を「切」にし、しばらく待ってから放熱器を「入」にしてください。

停 止

2 放熱器の運転スイッチを切る

運転スイッチはゆっくりと操作してください。
急に「切」にすると「コトン」という音がすることがあります。

メインリモコンの「運転」と「💧」が消えます。

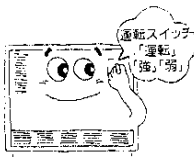
運　転　（マルチコントロールシステムでない場合）

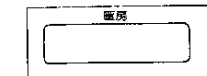
1 メインリモコンの
暖房スイッチを押す

自動的に熱源機が運転します。

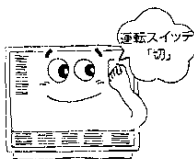
暖房ランプが点灯し
「運転」と「 」が表示されます。

2 放熱器の
運転スイッチを入れる

しばらくしてファンが回り
暖かい空気が出てきます。

停　止

3 メインリモコンの
暖房スイッチを押す

暖房ランプが消灯し
「運転」と「 」が消えます。

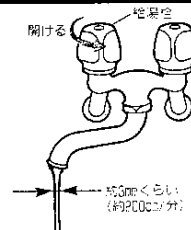
4 放熱器の
運転スイッチを切る

凍結予防のしかた（暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。）

●凍結すると熱源機が故障したり配管が破損する恐れがあります。（有償）
●外気温が0℃近くになると凍結予防ヒータや暖房循環ポンプが作動して凍結予防を行います。絶対に分電盤のブレーカを切らないでください。

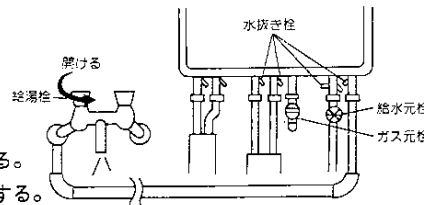
給湯・ふろ

外気温が極端に低くなりますと、凍結予防ヒータだけでは不十分です。
このような場合は、次の方法を行なってください。

方法 1. 給湯栓から水を流す

1 ガスの元栓を閉める。
2 メインリモコンの給湯スイッチ及び、風呂リモコンの給湯スイッチを切る。
3 給湯栓を開ける。

方法 2. 水抜きをする

（長期間不在の場合、または非常に冷えこみの厳しいとき。）

1 浴そうの水を排水する。
2 ガス元栓を閉める。
3 給水元栓を閉める。
4 給湯栓を開ける。
5 シャワーを床面まで下げる。
6 自動スイッチを「入」にする。
［そのままで約30秒間待つ］
7 追いだきスイッチを「入」にする。
［浴そうの風呂アダプターより水が出ることを確認する。］
8 水抜き栓を開ける。（4箇所）

凍結予防のしかた

水抜き後の使用方法

①水抜き栓を閉める。(4ヵ所)

②給水元栓を開ける。

③給湯栓から水が出ることを確認し給湯栓を閉める。

④ガス元栓を開ける。

⑤11ページの「使用方法」に従ってお使いください。

凍結して水が出ないとき

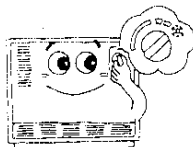
メインリモコンの給湯スイッチ及び風呂リモコンの給湯スイッチを「切」にし給湯栓を開け、水が出るまで待ってからお使いください。

暖房

•冬期外気温が0℃近くになりますと熱源機や温水回路内の水が凍結し、破損することがありますので必ず不凍液を注入してください。
•さらに寒さが厳しいときは以下の操作をお願いします。

1　暖房スイッチを「切」にする

2　すべての放熱器の運転スイッチを「 ※ 」にする

外気温が下がってきますと自動的に循環ポンプが作動して凍結を予防致します。

不凍液について

•不凍液は大阪ガス指定のものをご使用ください。
•1年に一度は暖房水全体を入れかえ不凍液を新たに注入してください。
ご相談はお買い上げの販売店もしくは、大阪ガス支社までご連絡ください。

不凍液の取扱い

•幼児の手の届くところに置かないでください。

凍結したとき

●凍結した場合、ガス元栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま使われますと熱源機に異常が生じる場合があります。

●凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。

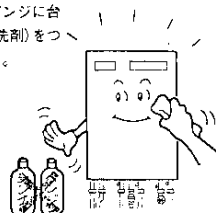
●熱源機や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

点検・お手入れ

「点検・お手入れ」は必ず給水元栓とガス元栓を閉め、熱源機が冷えてから行なってください。

●お手入れの方法

■ 本体が汚れたときは？

布または、スポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけて、ふき取る。

■ リモコンが汚れたときは？

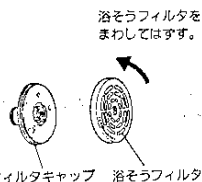
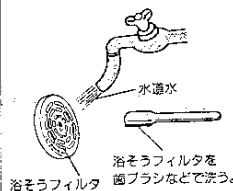
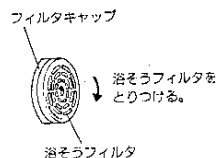
水をつけた布をかたく絞り、軽くふき取る。

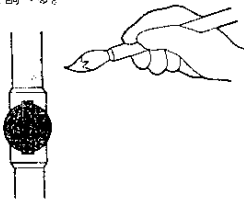
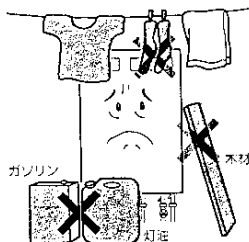
内部は、電気部品が入っているので絶対にぬらさない。

■ 浴そうフィルタの掃除をしてください。

①浴そうフィルタにはゴミや湯あか等が付着し、そのままにしておくと目詰まりを起こし熱源機の異常の原因になります。

②浴そうフィルタの掃除はつぎの要領で定期的に行なってください。

1　浴そうフィルタを取り外す。

2　掃除をする。

3　もとのように取り付ける。

●点検の方法

■本体・配管からの水漏れ・ガス漏れは？
ガス漏れは、配管接続部に石けん水などをつけて調べる。

■熱源機の周囲は？
燃えやすいものを置いていませんか。

■熱源機の異常音は？

■外観に異常は見られませんか？

定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年１回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店またはお近くの大阪ガス支社にご相談ください。

●熱源機が古くなると熱交換機やバーナにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起こすことがあり、ときどきご使用中に異常（異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等）がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元栓を閉めてお買い上げの販売店またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。

1　停電・断水・ガスの供給が停止した時

	停　電	断　水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	〈停電時〉 ・運転は停止しますが、水は出続けます。 ・給湯栓を閉じてください。 〈通電後〉 ・使用方法（11ページ参照）によりご使用ください。	〈断水時〉 ・運転は停止します。 ・給湯栓を閉じてください。 ・給湯スイッチを、「切」にしてください。 〈再通水後〉 ・使用方法（11ページ参照）によりご使用ください。	〈供給停止〉 ・運転は停止しますが、水は出続けます。 ・給湯栓を閉じてください。 ・給湯スイッチを、「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ・使用方法（11ページ参照）によりご使用ください。
ふろ自動運転	〈停電時〉 ・運転は、停止します。 〈通電後〉 ・使用方法（12～14ページ参照）によりご使用ください。 ・そのままご使用になりますと浴そうのお湯が設定水位にならない場合がありますので、一旦全部排水し再操作してください。	〈断水時〉 ・運転は、停止します。 ・自動スイッチを「切」にしてください。 ・エラーコード412が点滅します。 その場合は、再通水後27ページに従ってください。	〈供給停止〉 ・運転は、停止します。 ・自動スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ・使用方法（12～14ページ参照）によりご使用ください。
ふろ追いだき	〈停電時〉 ・運転は、停止します。 〈通電後〉 ・使用方法（15ページ参照）によりご使用ください。	〈断水時〉 ・通常は、正常運転します。	〈供給停止〉 ・運転は、停止します。 ・追いだきスイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ・使用方法（15ページ参照）によりご使用ください。
暖房	〈停電時〉 ・運転は、停止します。 ・すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈通電後〉 ・使用方法（19～20ページ参照）によりご使用ください。	〈断水後〉 ・通常は、正常運転します。 ・エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。	〈供給停止〉 ・運転は、停止します。 ・すべての放熱器の運転スイッチ、暖房スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ・使用方法（19～20ページ参照）によりご使用ください。

2　次のような場合は故障ではありません。

現　　　象	説　　明
寒い日に排気口から湯気がでる。	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる。	水の中の空気が分離して気ほうとなるためです。
長時間給湯を使っていると火が消える。	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯栓を急に止めるとゴツンと音がすることがある。	給水パイプに逆止弁を取り付けると、音がする場合がありますが、水が急に止まるために発生する音で異常ではありません。

3　故障・異常の見分け方・処置方法

ご使用中に、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

原因（●＝主原因　▲＝原因）	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	自動運転・追いだきができない	「◊」表示が点灯しない	暖房がきかない、またはききがおそい	処置方法
ブレーカが「入」になっていない	●				●		●	ブレーカを「入」にする
ガス元栓の開き不十分	▲	▲	●	▲	▲	▲	▲	ガス元栓を全開にする
配管内に空気が残っている	▲	▲			▲	▲		点火操作を繰り返す
給水元栓の開き不十分	●	▲		▲	▲			給湯栓をいったん閉めてから給水元栓を全開にする
水ストレーナの詰まり	▲	▲		▲	▲			詰まり除去または点検を依頼する
断水している	●				●			使用をいったん中止する
凍結している	●				●			解凍するまで使用を中止する
給湯栓の開き不足	▲	▲		▲				給湯栓を全開にする

4　エラーコード表示について

この熱源機には、不具合が生じたときにその原因をエラーコードで知らせる機能があります。
下表のエラーコードの表示に応じた処置を行なってください。

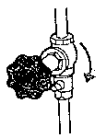
表　　示	原　　因	処　置　方　法
001	給湯を連続90分以上運転したためです。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
002	ふろの沸き上げを連続90分以上運転したためです。	追いだきスイッチ（または自動スイッチ）を押しなおしてください。
	残湯で停電したためです。	翌日お湯を抜いてから自動スイッチを押してください。
432	浴そうからお湯があふれているためです。	自動スイッチを「切」にして水位設定を低くして再度「入」にしてください。
032	浴そうの栓をしていないためです。	自動スイッチを「切」にして浴そうの水を抜き、栓をしっかり閉めて再度「入」にしてください。
412	自動お湯はり中に断水したためです。	再通水後、自動スイッチを「切」にして、再度「入」にしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたためです。	
113	ふろ側及び暖房側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、追いだきスイッチ（または自動・暖房スイッチ）を押しなおしてください。
723	ふろ側及び暖房側の回路に異常がおきたためです。	

上記以外の表示がでる場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再操作してください。

再操作しても同じ表示がでる場合は、ブレーカを切らないで、お買い上げの販売店へ連絡。

●安全装置が作動したときの処置方法

●点火しなかったり、ご使用中にバーナが消火したときは、25~27ページの「故障かな？と思ったら」に従ってください。
また、次の安全装置が働いた場合には、メインリモコン、風呂リモコンの操作スイッチを「切」にし、ガス元栓・給水元栓を閉めてから、お買い上げの販売店またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。

1　給水元栓を閉める。

2　ガス元栓を閉める。

3　お買い上げの販売店または大阪ガス支社へ

●下記の異常時には、安全装置が働きます

- ●給湯バーナの炎が消えた場合……………………給湯立消え安全装置
- ●暖房(ふろ)バーナの炎が消えた場合……………暖房立消え安全装置
- ●暖房回路の水が万一極端に減った場合……………空だき防止装置(暖房)
- ●空だきした場合……………………………空だき安全装置(給湯・暖房)
- ●熱源機の温度が異常に上昇した場合……………………過熱防止装置
- ●電気回路に漏電が生じた場合…………………………漏電安全装置
- ●過電流が流れた場合……………………………………電流ヒューズ
- ●熱源機内の水圧が異常に上昇した場合…………………過圧防止安全装置

項目	細目					
機種名		ガス給湯暖房機				
型式名		AT-241RFA-AL,-C,-D,-E				AT-241FFA-AL
品番		44-875	44-876	44-877	44-878	44-879
種類	給湯方式	先止め式				
	暖房方式	温水循環方式				
	給排気方式	屋外強制排気方式				強制給排気方式
設置方式		屋外設置方式				屋内設置方式
着火方式	給湯・暖房	ダイレクト着火				
外形寸法	本体	高さ750mm×幅480mm×奥行255mm				
	メインリモコン	高さ198mm×幅 96mm×奥行 21mm				
	風呂リモコン	高さ 96mm×幅198mm×奥行 20mm				
重量	本体	42kg(運転時　約45kg)				43kg(運転時約46kg)
	メインリモコン	0.3kg				
	風呂リモコン	0.3kg				
水圧	使用水圧	1kg／cm²以上				
	作動水圧	0.15kg／cm²				
最低作動水量	給湯	2.0ℓ／分				
	暖房	0ℓ／分以上(締切り使用可)				
	ふろ	4.0ℓ／分				
ポンプ機外揚程	ふろ	5.5m H_2O (5.5ℓ／分のとき)				
	暖房	6.0m H_2O (6.5ℓ／分のとき)				
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式				
	暖房	電子式ガス比例制御およびON-OFF制御方式				
温度調節	メインリモコン 温調	約38℃～約47℃(1℃間隔)約60℃　約75℃				
	風呂リモコン ふろ	約35℃～約50℃(1℃間隔)				
	風呂リモコン 給湯・シャワー	約38℃～約47℃(1℃間隔)約60℃　約75℃				
	暖房	約80℃(自動変温システム約80℃～約70℃～約65℃)				
給湯量制御方式		水量比例制御方式				
排気ファン制御方式	給湯	負荷による比例制御				
	暖房	負荷による比例制御				
	同時	負荷による比例制御				
安全装置		給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置・停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒータ・水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置				
消費電力		最大260W	最大280W	最大280W	最大280W	最大290W
		凍結予防運転作動時；最大286W				
接続	ガス	R¾オネジ(20A)				
	給水・給湯	15Aソルダー継手付属(G½)				
	暖房	15Aソルダー継手付属(G¾)				
	ふろ	10Aソルダー継手付属(R½)				
	オーバフロー	R½オネジ(15A)				
	電気	本体電源　AC100V　60Hz　3心(うち1心アース用)				
		風呂リモコン2心、メインリモコン2心				
	給排気接続口	――――――				給気口φ80・排気口φ80 最大延長7m3曲り
付属品		風呂リモコン(一式),メインリモコン(一式)				
BL品番		AT-241RFA-AL				AT-241FFA-AL

仕　様

使用ガス		型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal／h)				標準出力(kcal／h)		
				給湯ガス消費量			能力最大時		
使用ガスグループ			全ガス消費量	最大	最小	暖房ガス消費量	給湯	追いだき	暖房
都市ガス用	13A	AT-241RFA-AL AT-241RFA-AL-C AT-241RFA-AL-D AT-241RFA-AL-E AT-241FFA-AL	42,000	30,100	4,700	15,000	24,000 (16号)	7,500	12,000
LPガス用			3.50 kg/h	2.51 kg/h	0.39 kg/h	1.25 kg/h	24,000 (16号)	7,500	12,000

		都市ガス用13A	LPガス用
出湯能力(ℓ／min) (能力大) (水圧:1kgf／cm²時)	水温＋25℃上昇	(16.0)	
	水温＋40℃上昇	10.0	

● 給湯能力の(　)内は、水温＋25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

●長期間使用しない場合

●必ずガス元栓・給水元栓を閉め、各リモコンおよび、放熱器のすべてのスイッチを「切」にし分電盤のブレーカを「切」にして、凍結予防の処置を行なってください。

保管とアフターサービス

● サービスのお申し込み

•25～28ページの「故障かな？と思ったら」の項を見てもう一度確認ください。

•確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店または、大阪ガス支社にご連絡ください。なおご連絡いただくときは次のことをお知らせください。

(1)品　名………ガス給湯暖房機　エックス　プリオール・オート
(2)品　番………正面右下部に貼付してあります。
(3)現　象………不具合内容及びエラーコードの数字
(4)道　順………（できるだけ詳しく）

(N)44-875(U)
大阪ガス株式会社
744 875 05
(AT-241RFA-AL)

● 転居される場合

•ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

● 保証書について

この熱源機には保証書がついています。

•このガス給湯暖房機は保証書に記載のように、熱源機の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。